

---

# 恋の歌

紗和

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋の歌

### 【Nコード】

N2103E

### 【作者名】

紗和

### 【あらすじ】

女子高生アーティスト瑠璃華は、自分を助けてくれた真広に一目惚れし幸せになると決意しますが・・・

## 第一話

第一話「ヒトメボレ」

「瑠璃華ちゃん。今日の新曲すごくよかったよ。これからもがんばって！」

「ありがとうございます！」

桜小町瑠璃華16歳。一年前スカウトされてから歌手のお仕事をさせてもらっています。

「家に帰って宿題しないとママに怒られちゃう！それじゃ失礼します。」

瑠璃華は急いで事務所を後にした・・・

「今日は教科書の59ページをやるんだっけ？」

・バツッ・

その時誰かが瑠璃華を押さえつけた。

「きゃあ。誰？」

「ねえねえ。君さあ、瑠璃華ちゃんでしょう？ねえちよつと写真撮らせてよ・・・」

「いやあ誰か助けて」

その時ゴツツと鈍い音がした。すると誰かが耳元でささやいた。

「今のうちに逃げよう・・・」

「うん・・・」

私は言われるままに返事をした。

「あ・・・さっきはありがとうございます。」

「別に・・・でもすりむいちゃってるね。ごめんな？」

「そんなあなたのせいじゃありません・・・」

「俺。高瀬真広。君は？」

「あっ私は桜小町瑠璃華です。」

「えっ！まじで？俺CD全部持つてるよ。」  
何なのだろう。このドキドキする気持ち・・・

もしかしてヒトメボレ？そうなのね・・・私この人に恋したのね。  
決めた！私この人と絶対幸せになるわ！

「あおう。真広さん。ケータイ番号教えてくれませんか？」

「うん。いいよ！」

こうして私桜小町瑠璃華の「真広さんおっかけ大作戦」が始まった。  
・・・

## 第一話（後書き）

紗和です。しゃぼん玉とはちがう世界感を持ったお話です。ぜひ読んでください。  
では、また。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2103e/>

---

恋の歌

2010年12月3日05時25分発行